

伊集院保健所感染症情報

2024年第4週（令和6年1月22日～令和6年1月28日）

【お問い合わせ先】 〒899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）
 TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippei@pref.kagoshima.lg.jp
 鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiiki/kagoshima/index.html>

● 定点把握感染症

管内警報発令：咽頭結膜熱

定点医療機関【インフルエンザ5，小児科3，基幹定点1】

疾患名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内					県	
	開始	終息	基準値	第1週	第2週	第3週	第4週	先週からの増減	第3週	前週からの増減
インフルエンザ	30	10	10	13.20	19.60	17.60	9.00	↘	20.43	↗
COVID-19	-	-	-	4.40	10.60	20.40	10.20	↘	12.91	↗
咽頭結膜熱	3	1	-	1.67	4.00	3.00	2.33	↘	3.25	↘
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-	2.67	4.67	3.33	2.33	↘	4.90	↗
感染性胃腸炎	20	12	-	2.00	3.33	7.33	3.00	↘	12.22	↗
水痘	2	1	1	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.08	↗
手足口病	5	2	-	0.00	0.33	0.33	1.00	↗	1.14	↗
伝染性紅斑	2	1	-	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.02	→
突発性発しん	-	-	-	0.00	0.00	0.33	0.33	→	0.37	↗
ヘルパンギーナ	6	2	-	0.00	0.33	0.00	0.00	→	0.06	↘
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	0.33	0.00	↘	0.14	↗
RSウイルス感染症	-	-	-	0.00	0.00	0.00	0.33	↗	0.18	↗
基幹定点からの届出状況			該当なし							
インフルエンザ入院サーベイランス			該当なし							
COVID-19入院サーベイランス			該当なし							
全数報告（かっこ内は本年の累積数）			該当なし							
※警報域：太文字で赤色の塗りつぶし， 注意報域：太文字で黄色の塗りつぶし										

● TOPIC 麻しん風しん（MR）のワクチン接種はお済みですか？

麻しんは、麻しんウイルスによって発生する急性の全身感染症で、感染力がとて強く、空気感染、飛沫感染、接触感染で広がります。主に、高い熱や全身の発疹、せき、鼻水、目の充血などの症状がでます。肺炎、中耳炎を合併しやすく、先進国であっても1,000人に1人が死亡すると言われています。

また、風しんは、風しんウイルスによって発生する急性の発疹性感染症で、飛沫感染により強い感染力を持ちます。症状が現れない場合もあれば、重篤な合併症（脳炎など）を併発する場合があります。

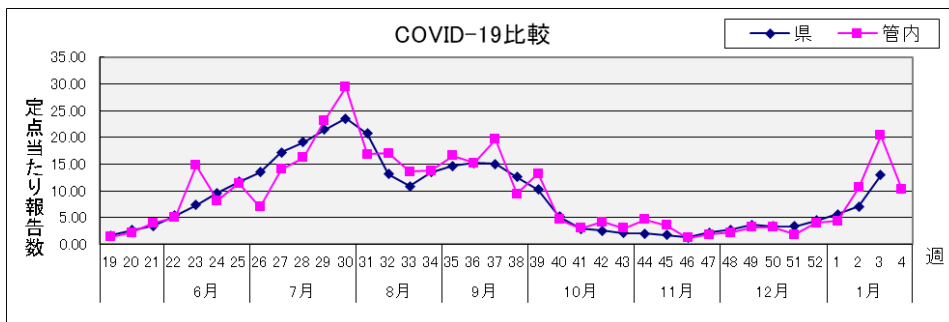
麻しん風しんワクチンの定期予防接種は、第1期：1歳～2歳未満に1回、第2期：5歳以上7歳未満で小学校就学前の1年間に1回接種となっています。

麻しんに対する集団免疫の獲得には、2回のワクチン接種率（接種率）95%以上の達成・維持が必要であるといわれています。しかし、厚生労働省の2022年度の本県の第2期の接種率は89.3%で、全国でも45位と低迷しています。まだ接種が済んでいない定期予防接種対象児（1歳児、年長児）は、推奨期間内に接種できるようにしましょう。そして、定期予防接種対象児が通園している幼稚園、保育園等の皆様におかれては、集団感染防止の観点から、対象児の接種状況の確認と未接種者の保護者等への接種勧奨を、また、医療機関職員の皆様におかれては、定期接種対象児が受診した際の未接種者の保護者等への接種勧奨をお願いします。

● 注意すべき感染症

● COVID-19（新型コロナウイルス感染症）

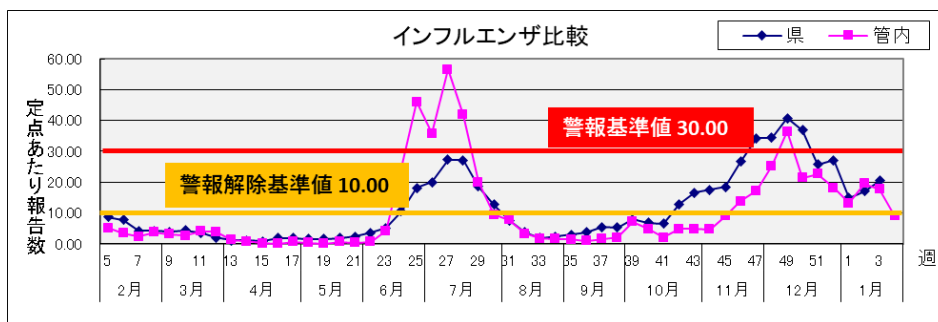
前週の伊集院保健所管内における COVID-19 の報告数は、前週の 102 人（定点当たり 20.40）から 51 人少ない 51 人（10.20）でした。年齢別では、80 歳以上（8 人）、1 歳・70～79 歳（各 6 人）、30～39 歳（5 人）の順で多い報告でした。



☆**新型コロナ療養の目安**：発症日（無症状の場合は陽性となった検査の検体採取日）から 5 日を経過し、かつ症状が軽快して 24 時間経過するまで（学校保健安全法も同様）。また、発症日から 10 日間はマスクを着用し、周りに感染させないようにしましょう。

● インフルエンザ（県内警報発令中！）

今週の伊集院保健所管内におけるインフルエンザの報告数は、前週の 88 人（定点当たり 17.60）より 43 人少ない 45 人（定点当たり 9.00）でした。年齢別では、10～14 歳（13 人）、15～19 歳（5 人）、4 歳・7 歳・8 歳（各 4 人）の順に多い報告でした。



小児ではまれに急性脳症を、御高齢の方や免疫力の低下している方では二次性の肺炎を伴うなど重症になることがあり、それぞれ注意が必要です。

管内の定点当たり報告数は、警報解除基準値の 10.00 を下回りましたが、引き続き発生動向に注意しましょう。

☆**罹患後の登校基準**：発症した後 5 日を経過し、かつ解熱した後 2 日を経過してから（学校保健安全法）。

インフル・COVID-19 感染症予防のポイント

- ①咳エチケット（口・鼻を覆う） ②「液体石けん・流水による手洗い」か「手指消毒」
③換気 ④集団生活の場では、共用部分の消毒 **基本的な感染対策を！**

○学校における感染症による出席停止の状況 1/22～1/28（出典：学校等欠席者・感染症情報システム）

今週のインフルエンザによる出席停止は、前週の 60 人（うち B 型 2 人）から 7 人少ない 53 人（うち 11 人）で、B 型と報告されている人の割合が 3.3% から 20.8% に増加しています。

学級閉鎖の報告はありませんでした。

自治体名	疾患名	インフルエンザ	インフルエンザ A 型	インフルエンザ B 型	感染性胃腸炎	溶連菌感染症	新型コロナ感染症
日置市		27	10	10	1	2	26
いちき串木野市		2	3	1	0	0	3
三島村		0	0	0	0	0	0
十島村		0	0	0	0	0	0
計		29	13	11	1	2	29

○社会福祉施設等における感染症集団発生時の保健所への報告について

管内の社会福祉施設において、インフルエンザや COVID-19 の集団発生が報告されています。高齢者や乳幼児、障害者など重症化リスクのある方が生活する社会福祉施設等では、集団発生の防止を図ることと、感染症発生時には迅速で適切な対応を行うことが求められています。

予め、施設内でインフルエンザやノロウイルス、COVID-19 の患者が確認された場合を想定し、施設内の連絡体制や対策を決めて、職員に周知しておきましょう。

★鹿児島県 HP「高齢者施設等における新型コロナ感染者発生対応マニュアル」を参考に⇒

